

1. 原稿の種類と文字数

投稿については、以下の種別のおりとする。

- | | |
|-------|--|
| 論文 | ライティングに関して、オリジナリティのある研究成果をまとめたもので、ライティング研究の発展に資する内容であること。
和文は 20,000 字、英文は 8,000 語以内を原則とする。 |
| 実践報告 | ライティングに関して、未発表データを含む、有用性のある教育実践の成果をまとめたものであること。
和文は 15,000 字、英文は 6,000 語以内を原則とする。 |
| 研究ノート | ライティングに関する最近の研究状況や資料の紹介など。
和文は 10,000 字、英文は 4,000 語以内を原則とする。 |
| 書評 | ライティングの教育者ならびに研究者にとって有益な新刊・近刊の書評。
和文は 5,000 字、英文は 2,000 語以内を原則とする。（要旨・参考文献・注釈は不要。） |

以上の投稿については、原則として、専門家による査読（ダブル・ブラインド方式）と、その前後に紀要委員会による校閲が行なわれる。寄稿や、紀要委員会による企画記事等については、別途定める。

2. 原稿作成における注意事項

原稿の作成には、以下の事項に従う（提供される Word のテンプレートをご利用ください）。

- (1) 原稿の体裁 1 本の Word ファイル（～.docx）に、題目、本文、図表、写真、注釈、参考文献を含める。提出はこの Word ファイルのみでよいが、体裁等について申し送りがある場合は、それがわかる pdf ファイルも同時に提出する。
- (2) 論文の構成 それぞれの専門の学術的文章の慣習にのっとった構成にする。
- (3) 基本情報 原稿冒頭に、題目、著者名、所属、要旨、キーワードを記載する。
- (4) 要旨 和文には、日本語と英語要旨を、英文には、英語要旨を付ける。
- (5) フォント 和文は MS 明朝、英文は Times New Roman を用いる。
- (6) 句読点 カンマ（,）とピリオド（.）を用いる。和文では全角、英文では半角とする。
- (7) スタイル サイテーションとレファレンスリストは、原則として APA 第 7 版(2020)に基づく。ただしこれを翻案して日本語文献・資料を記述する際の細部についてはテンプレートの例示に従う。なお、投稿者本人の先行文献・資料に言及する場合は、それを第三者の作成物として扱い、本人のものであることを明示しない記述とする（査読を経て掲載可となった場合には、そのあとで記述を改めることを認める）。
- (8) 注釈 注釈を施す場合には、脚注方式と後注方式の両方を認める。
- (9) 図表 図表は、Word や Excel で作成する（モノクロを原則とする）。表題は APA に準拠し

て、図表の上部に付ける。

- (10) 写真 図として写真を含める場合は、Word ファイル内には仮のデータを表示し、別途 jpg ファイルも提出する（掲載はモノクロを原則とする）。
- (11) 英文校閲 英語を母語としない執筆者は、英文（題名を含む）の投稿前に、その責任において、しかるべき第三者（実在する人間）の校閲を受け、その事実を確認できる通信文や書類を示す。

3. 倫理規定

執筆者は原稿作成において研究倫理を順守する責任を負うものとする。原稿の内容に倫理上の問題があることが明らかになった場合、紀要委員会は適宜必要な措置をとることとする。

「人を対象とする研究」として、本学の「人を対象とする研究に関する研究倫理審査委員会」による倫理審査への申請が必要な場合は、執筆者がこれを行なうものとする（不明の場合は、「青山学院大学人を対象とする研究倫理」事務局または紀要委員会にお尋ねください）。

- 4. 本誌投稿規程第9条に基づき、執筆者は、掲載原稿の青山学院大学図書館による複写・複製（デジタル化）、および、目次情報と本文データの図書館ウェブサイト等での一般公開について、掲載をした時点で、承諾をしたものと見なす。（著作権やプライバシー等の関係でデジタルデータ化や公開できない資料・図版等がある場合は、その部分は除くことができる。）